【夕刊】四月二十日

休日 日曜大祭日
一ヶ月 廿五錢　郵税 十五錢　一部 二錢
廣告料 一行四〇錢　場所指定 廿錢増
發行兼編輯人 印刷人 半谷政吉
發行所 福島縣平町南町廿 新いわき新聞社

天候に惠まれた櫻花
平公園本年の賑はひ
毎日數萬の人出に埋まる
然し花も漸く終に近づく

平公園に於ける本年の櫻花期は開花の頃から引續いて好天氣に惠まれた爲め藝妓屋組合が催發した園內舞臺掛の手踊の特別行事も空しからず

不景氣を外の殷賑を呈して花期間每日數萬の人出に全園を埋め殊に飾燈を點ずる夜間の觀賞に誘はれるもの多く去る十七日縣社子鍬倉神社の例祭に相まてる當日は

平驛の乘降だけで一萬人に近づく本年絶頂の人出と云はれ昨十九日、（廿日）までに續いた賑はひ云ふばかりなく今廿日の如きも陰曆三月の雛節句と惠まれた快晴で

前日に劣らぬ觀櫻客を見せてゐるが櫻花も漸く終りに近く茲二三日を以て漸次下火に向ふであらう

同は本年遠距離團體客は双葉相馬及び磐越東線筋からも來てはゐるが茨城**方面か**らのものが最も多く最近日間の平驛乘降客を上ぐれば左記の如くである

▲十九日乘四五〇〇降四二〇〇、十八日乘三七〇〇、降三四五〇、十七日乘四八〇〇、降四六〇〇

御眞影傳達式
今二十日濱通各學校へ

磐城中學校講堂に於て今二十日午前八時から同九時三十分までの間に於て傳達式を行はれた、濱通り各學校に下し賜はれた兩陛下の御眞影は昨十九日午後二時五十三分平驛御着の當日より平町では沿道に國旗を掲げ所在各學校職員生徒を初め官民多數奉迎申上げた

今朝の小火

石城郡中窪村の中中窪字高倉農高萩森之助（五六）方から今廿日朝六時卅分頃屋敷脇に積んで置いた居宅屋根葺替への萱に發火し家人が發見消止めたので大事に至らなかつた原因は通行人の煙草の吹殻らしく目下取調中で損害僅少

花に浮かれ過ぎて檢束

平町長橋町遠藤柳之助方美野輪猛夫（二六）及び當時居所不定鈴木長次郎（三六）西白河郡川崎村深谷袈裟好（三七）は何れも昨十九日夜平公園で泥醉暴行の爲め檢束さる

勿來田甫で野外演習
水戸聯隊の現役も參加

石城郡勿來町の青年訓練所及び在鄉軍人並に小學校聯合の野外演習は去る十八日に水戸聯隊から現役軍人廿餘名と輕機關銃を派遣參加同町窪田田甫を中心として午前中勇壯なる演習を行はれたが同地方には珍らしい催

なので參觀者多く非常の賑はひであつた

比佐氏の任官祝賀

石城民政黨俱樂部では磐中同窓會及び軍人會と合同し代議士比佐昌平氏の陸軍參與任官祝賀會を來る廿六日午後一時平公園で開催の筈だが會費は廿錢の由

青年の怠惰者
徬徨も働く徵兵忌避者

石城郡小名濱町の中島字上町六江尻正次（二三）は去十九日午後十時頃平公園の花に浮かれて泥醉し通行人に暴言を吐くので平署に檢束されたが同人は實父が盲人であるのを奇貨とし遊意に日を送り秘かに自宅へ忍んで食を得ては飛び出し小盜盜を働いて姿を晦まし未だ徵兵檢査を受けずに居ることが判り引續き取調中

廿五日目で死體發見
豐間沖に出漁せる漁夫

石城郡豐間村の燈臺沖一浬に於て去る六日午前十時頃同海區に出漁中の同村鰹谷町四家千之吉が發見届出た漁夫の死體は身元調査の結果去る三月廿三日午後二時半頃同沖合に出漁せる宮城縣七濱村の吉濱字濱屋敷寺澤寅次郎所有漁船東洋丸の漁夫で大波に浚はれ行方不明であつた同村忠二郎三男鈴木吉松（二〇）と判つた

平町統計委員會
今二十日町役場で

平町統計調査委員會は今廿日午後一時から町役場に開催され左記全委員の出席で縣の統計基本調査に則る諸般につき協議した

▲松崎秀吉、鈴木政一、鈴木總五郎、猪狩庄平、植田鶴松、草野廣吉、寺木甚平、鈴木良平（以上）

豐間の大敷愈よ着漁
向後十日位で準備を終へる

石城郡豐間村の大敷漁業は過般來操業準備中であるが完了までには尚は十日を要するので來月早々着漁されるものゝ如く同地では每年數十萬圓に上る同漁期を迎へて非常な活況を呈してゐると

愈よ春蠶の催靑期だ
良蠶適育が最も安全
石城地方は一割五分減か
一般の掃立は來月初旬中

石城地方の春蠶掃立は例年八十八夜（本年は五月三日）前後と云はれるが本年は桑葉發芽の模樣から當日以後になるらしく各養蠶家は茲四、五日中に於て

大部分催靑に着手される掃立枚數は現下の糸價安に鑑み堅實なる良蠶適育の方針を以て前年に比し約一割五分減位かと豫想されてゐる養蠶の成績は催靑當初の

良否に關係するものが多いので郡蠶同業組合では之れが着手に當り濱通の指揮にまつ共同催靑を奬め蠶卵の生理を害さぬ樣それぐ注意を發したが右に對して肝要な注意は左記の如くであると

春蠶の催靑は桑葉發芽との均衡を誤らぬこと例へば向後二週間位の後に掃立てるものなら早生桑の芽が一葉位のび出した時を見當とする若し十日位で掃く場合は二葉伸びと云ふ樣に夫れから催靑に於ては最初から同一溫度で保護する平溫方法で くとせば一化性種並に同雜種は華氏の六十度から七十五度、二化性種並に同雜種なら七十度から八十度の間で何れも七十三度から七十七度位をとる樣にし其他總て養蠶教師又は訓練された當業者の指圖にまつことが安全であると

漁業組合の觀櫻會

石城郡江名町漁業組合及び海産商組合では昨十九日午後一時から同町南町の寺山公園で觀櫻會を催したが會員六十餘名の盛會だつた

江名濱の曳網豐漁

石城郡江名町に底曳網は一日曳を以て三百圓から四百圓沖曳は二日曳で五百圓乃至七百圓の豐漁を占め目下不景氣知らずの活況の由

俳句

桃櫻をこき交ぜて（二）

滿壽莊主人

桃咲くや名は何とやら云ふところ　千代女

桃の花はやゝ卑俗の嫌はあれど其果は仙果仙桃などゝ云はれて仙人に緣の深いものとされて居る此句桃の咲いたのを見て來たが其地名を忘れたと云ふところに何とやら仙境ではあるまいかと思はせる趣きがあつて何床しく思はせらるゝのであります

清姬がくちびる見せよ桃の花　花大

『紀州道成寺にて』と題せる句であります清姬と云ふのは御承知の安珍と云ふ若僧に戀して日高川で大蛇になり此道成寺へ來て鐘を巻いたと云ふ物語りを殘した美人で此句は此寺にある桃を見て美人の紅唇を思ひ其樣な色に咲いて見せよと桃に希ひたる詩人の感懷で妙も亦得しと云へます

めき／＼と馬の育つや桃の花　花讃

冬痩せた馬の仔もゝの咲く陽氣になつてめき／＼と育ちぶりが見えて來たと云ふ平凡な句ですが此裏面にもゝの花の咲いて居る庭園の持主で馬の飼主なる百姓の富貴なる生活ぶりが見えるのであります

戶の開てあれど留守なりもゝの花　千代女

もゝの花が滿開である一寸拜見さしてもらひたいと訪へば戶は開け放しになつて居るがみんな留守でしんとして居る、ハテ不用心なと思つたがなる程こんな平和な村里では別段用心の必要もないのであらう道に落ちたるを拾はず夜戶を閉さずと云ふ明るい政治ののんびりした世の中を思はれます

産業方面

豚の傳染病（一）

法定の三種傳染病と症狀並豫防

家畜類の傳染病は養豚業に限らず甚だ恐るべきもので急性の傳染病が一旦侵入する畜産業を根本的に破壊されることが極めて多い夫れ故に各國共皆法律を制定して國家を擧げて之れが豫防制壓に努め畜産業の確立を期されてゐるが我が國でも被害の多い豚コレラ、豚股豚丹毒の三種を法定傳染病としてゐる、これ等の病氣には飼ひ主が細心なる注意を拂へば大事に至らぬ先に防がれる、此の三種傳染病に就て述べて見やう、

豚コレラ

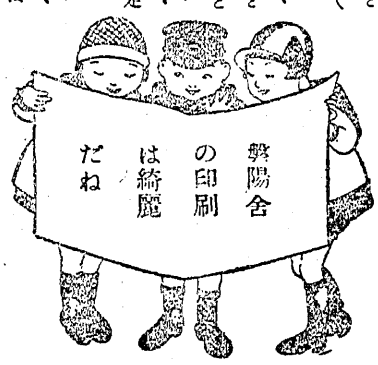
これは豚の傳染病中に於て最も猛烈なもので我國でも時々流行し多大の損害を受けてゐる、此の傳染病の原因は濾過性病毒であつて顯微鏡でも見ることが出來ない、病豚の排泄物、分泌物等によつて外界に排出され飼料の殘滓、ねわら、器具豚の取扱人、豚商人、出入者、輸送貨車等に附着したものから他に運ばれて再びぶたの口を經て傳染するものである、此の病氣は消化器傳染であるから飼料に就て深い注意を要する

恐怖時代の動脈硬化症豫防及治療新藥
アイヨー錠
定價　試用二圓　中六圓　大廿圓
發賣以來白熱的に歡迎せらる
特約店　山野邊藥局　平町五丁目

看護婦
[illegible]
平看護婦會　電話三〇七番

ガソリン　モビール油　日本石油株式會社
特約販賣　油間屋　關内商店　磐城平町電話屋一六六四〇
支店　郡山市驛前大通　電話屋三二八
支店　茨城縣黒木驛前　電話屋平潟七三
出張所　油槽所　平町四丁目　郵便局前

新裝のカフエータヒラ
皆樣のお蔭によりまして
近代的な食堂に改造致ました
どうぞお出で下さいませ
各品共從來の通り勉強いたします
平驛前　カフエータヒラ　電話六二〇番

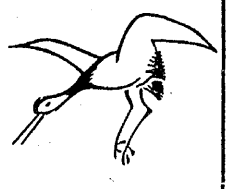
よく出來たと云はれるまで
叮嚀に
これは早いと肯かれるほど
迅速に
皆さんに滿足されるほど
親切に
そして印刷代は
破格の勉強を致します


新いわき新聞社
專屬磐陽舍
平町南町卅番地

貸切は？
親しみあるサービスを以つて知られたる!!
尼子タクシーへ
電六四〇番
主任　澤正路

ライト寫眞館
平町搔槌小路
電話五三五番

お花見仕出し
お花見に御格好な折詰お肴を勉強いたします
お値段
特　お一人前　四十錢
上　同　上　三十錢
並　同　上　二十錢
江戸前のメンバンさんを雇入れました
平新川町　電四五九　新藤屋本店

學生用カバ　14錢より
總革製ランドセル　98錢より


各種學生帽
ヤルツに
平四・電一四〇

醫院開業
私儀今般左記場所に醫院を開業一般診察に從事致すべく候
平町新川端（釜屋新宅向）
難波醫院
醫學博士　難波睦
電話五〇二番
内科一般（午前宅診（午前九時より）午後往診）但し急患は此限りに非ず

銘酒たひら正宗
特價　二合樽詰　二十錢　四合同　四十錢　一升同　一圓
ヤマフル釀造元
鹽屋營業部
電話一〇番

御花見に……
銘酒　[illegible]乃[illegible]瓶詰
四合瓶詰、四〇
二合瓶詰、二〇
盃をおつけいたします
平町田町　永山酒店　電話二〇七番

磐城共濟病院案内
本病院は時局に鑑み入院料並に往診料左の通り低減致候間御參考迄申上候
入院料　一般　金貳圓也
一日　本會員金壹圓五十錢
往診料（院長及其他の博士に限り、一般金三圓也　平町本會員金二圓也）
尚地方往診も之に準じ俄減致候間此段申添候也
各科專門醫擔當
内科　小兒科
外科　皮膚泌尿科　整形外科　内臓外科
産婦人科　女子泌尿科
耳鼻咽喉科
×光線科（物理學的診療科）
院長　醫學博士　石山謙郎
本院主管　賀澤忠治
◎衛生試驛所　◎病氣相談所　◎救療所
本病院内　救療を申込るゝ方は當相談所へ御話し下さい
看護婦募集……磐城共濟會（磐城平町　電話六四一番）